

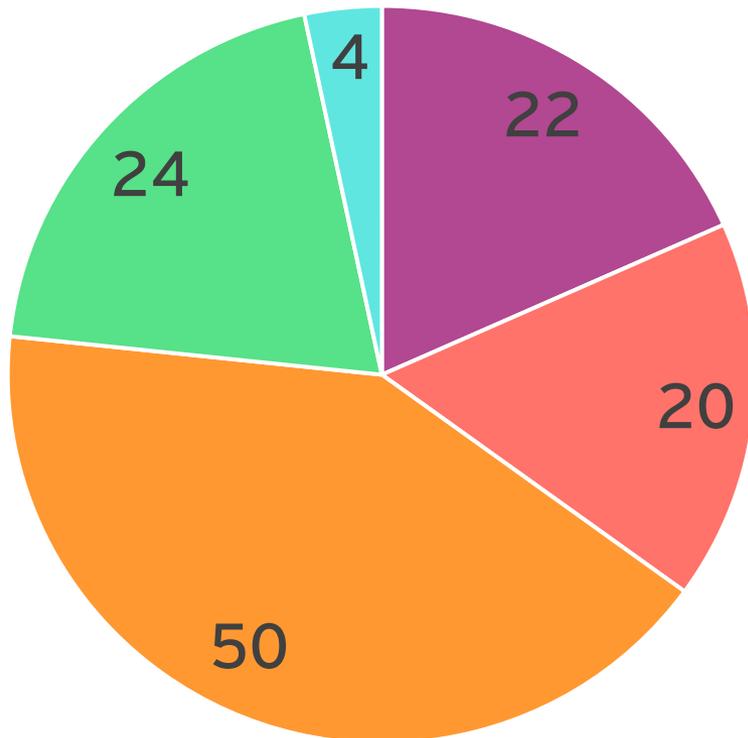
建設業セクター

建設業KAM事例分析

EY新日本有限責任監査法人

事例分析対象

- ▶ 対象期：2021年3月期
- ▶ 建設業会社
- ▶ 会社総数：120社（うち、連結F/S〈財務諸表〉を作成していない会社 13社）



SPEEDAの区分にて分類しております。

- ゼネコン
- ビル・住宅(マンション含)建築
- インフラ建設
- プラント・空調衛生工事
- その他

Contents

I KAM項目

- 1 項目数について
- 2 項目内容について

II 監査上の主要な検討事項の内容および選定理由(工事進行基準)

- 1 主要な検討事項の分布状況
 - 2-1 選定理由の分布状況
 - 2-2 対象としている財務諸表数値
 - 2-3 「より主要な検討を要する工事」の記載

III 監査上の対応(工事進行基準)

- 1-1 工事原価総額の見積り対応手続き記載の分布状況
 - 1-2 工事収益総額の見積り対応手続き記載の分布状況
- 参考 監査上の対応対象工事について
- 2 特徴的な手続き記載事例

I KAM項目

1 項目数について

▶ KAM項目数

KAM項目数	連結	単体
なし	0社	6社
1つ	75社	92社
2つ	28社	20社
3つ	4社	2社
平均項目数	1.33	1.15

連結ではKAMを記載

KAMがないと判断されている事例はなかった。

I KAM項目

1 項目数について

▶ 連結／単体KAMの記載状況

連結／単体KAMの記載状況	事例数
そもそも連結F/Sを作成しておらず、単体ベースでのKAM記載のみの事例	13社
連結のみKAM項目が存在する(単体ベースはKAM項目がない)事例	6社
連結に記載しているため、単体KAM記載を省略している事例	84社
連結にも単体にもKAM記載を行っている事例 ※	17社
合 計	120社

※ 省略していない事由分析

連結と単体ではKAM項目が違うため、省略していない	5社
連結と単体で一部KAM項目は同じであるが、連結独自のKAM項目も存在するため、省略していない	3社
連結と単体でKAM項目は同一であるが、あえて省略していない(金額や記載内容などのみ違う)	9社
合 計	17社

I KAM項目

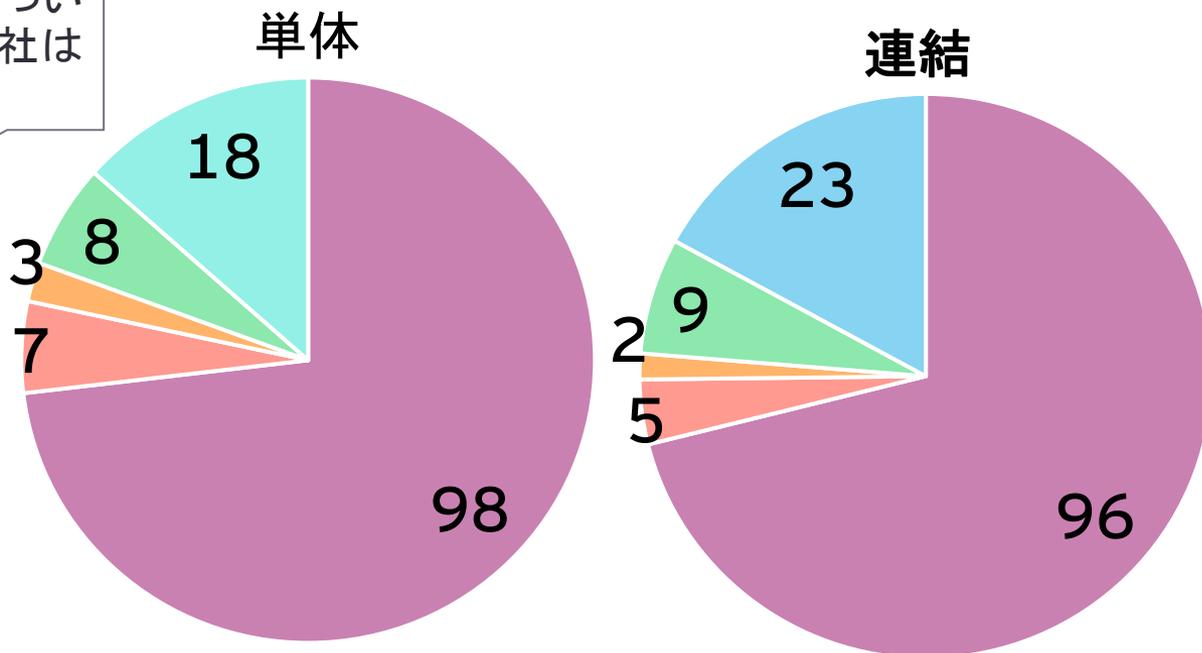
2 項目内容について

- ▶ 以下の分布(会社数)となっており、工事進行基準計算に関する見積りが主流である。

対象120社のうち、単体ないし連結で工事進行基準についてKAM項目としている会社は106社であった。

- 工事進行基準
- 工事完成基準
- 完成工事補償引当金
- 工事損失引当金
- その他

- ▶ 固定資産評価(減損)
- ▶ のれん評価
- ▶ 関係会社投融資 など



I KAM項目

2 項目内容について：（参考）道路舗装会社のケース

- ▶ 道路舗装会社に限定すると、以下の通りである。
- ▶ 道路舗装会社においても工事進行基準をKAM項目としている会社が主。
- ▶ 合材販売に関する項目についてKAM項目としている会社はない。

会社名	監査人	KAM項目
世紀東急工業(株)	EY新日本	建設事業における工事進行基準
(株)NIPPO	EY新日本	工事進行基準の適用における工事原価総額の見積り
日本道路(株)	EY新日本	舗装工事を主とした建設事業における会社の工事進行基準適用に係る工事収益総額の見積り
		舗装工事を主とした建設事業における会社の工事進行基準適用に係る工事原価総額の見積り
前田道路(株)	あずさ	工事進行基準における工事原価総額の見積りの合理性並びに工事完成基準における収益の期間帰属の適切性
三井住建道路(株)	EY新日本	工事進行基準適用における工事原価総額の見積り
東亜道路工業(株)	仰星	工事完成基準による売上高の期間帰属の適切性
		工事進行基準による売上高の見積りの妥当性
		工事損失引当金の見積りの妥当性
(株)佐藤渡辺	太陽	工事進行基準による収益認識

I KAM項目

2 項目内容について：（参考）住宅（マンション含）建築会社のケース

- ▶ 主な住宅（マンション含）建築会社に限定すると、以下の通りである。
- ▶ 工事進行基準をKAMとしている会社もあるが、不動産関連項目をKAMとしている会社が多い。

会社名	監査人	KAM項目
(株)長谷工コーポレーション	EY新日本	建設関連事業で適用される工事進行基準における工事原価総額の見積り
		不動産関連事業のたな卸不動産の評価
サンヨーホームズ(株)	トーマツ	マンション事業における区分分譲販売以外の売上取引に係る収益認識
		マンション事業の棚卸資産評価の合理性
(株)KHC	EY新日本	工事進行基準による収益認識
		販売用不動産などの評価
大和ハウス工業(株)	EY新日本	不動産ファンドなどへの不動産売却に係る収益認識
		開発中の大規模なプロジェクトに関連する固定資産の評価
		分譲目的で保有するマンションに係る販売用不動産の評価
ミサワホーム中国(株)	EY新日本	岡山資産グループの固定資産の減損

I KAM項目

2 項目内容について：（参考）住宅（マンション含）建築会社のケース

会社名	監査人	KAM項目
新日本建設(株)	太陽	工事進行基準による収益認識
		開発事業における販売用不動産および開発事業などの支出金の評価
大東建託(株)	トーマツ	工事進行基準の適用による収益認識
		株式会社インヴァランスの取得に係る取得価額の配分
矢作建設工業(株)	トーマツ	工事進行基準による完成工事高の計上
		固定資産の減損
積水化学工業(株) ※	EY新日本	企業結合における識別可能資産および負債の認識および測定
		Sekisui Aerospace Corporationグループの無形固定資産の評価
		Sekisui Aerospace Corporationグループののれんの評価
		住宅分譲目的で保有する分譲土地の評価

※ 東証業種区分は化学であるため、今回の分析対象事例には含まれないが、参考として記載

II 監査上の主要な検討事項の内容および選定理由(工事進行基準)

1 主要な検討事項の分布状況

- ▶ 工事進行基準の適用にあたっては、「工事収益総額の見積り」、「工事原価総額の見積り」、「工事進捗度の見積り」の3要素がある(工事契約に関する会計基準9項)が、「工事原価総額の見積り」のみを主要な検討事項として選定している会社が多かった。
- ▶ 工事進行基準に関する主要な検討事項の分布状況は、以下の通りである。

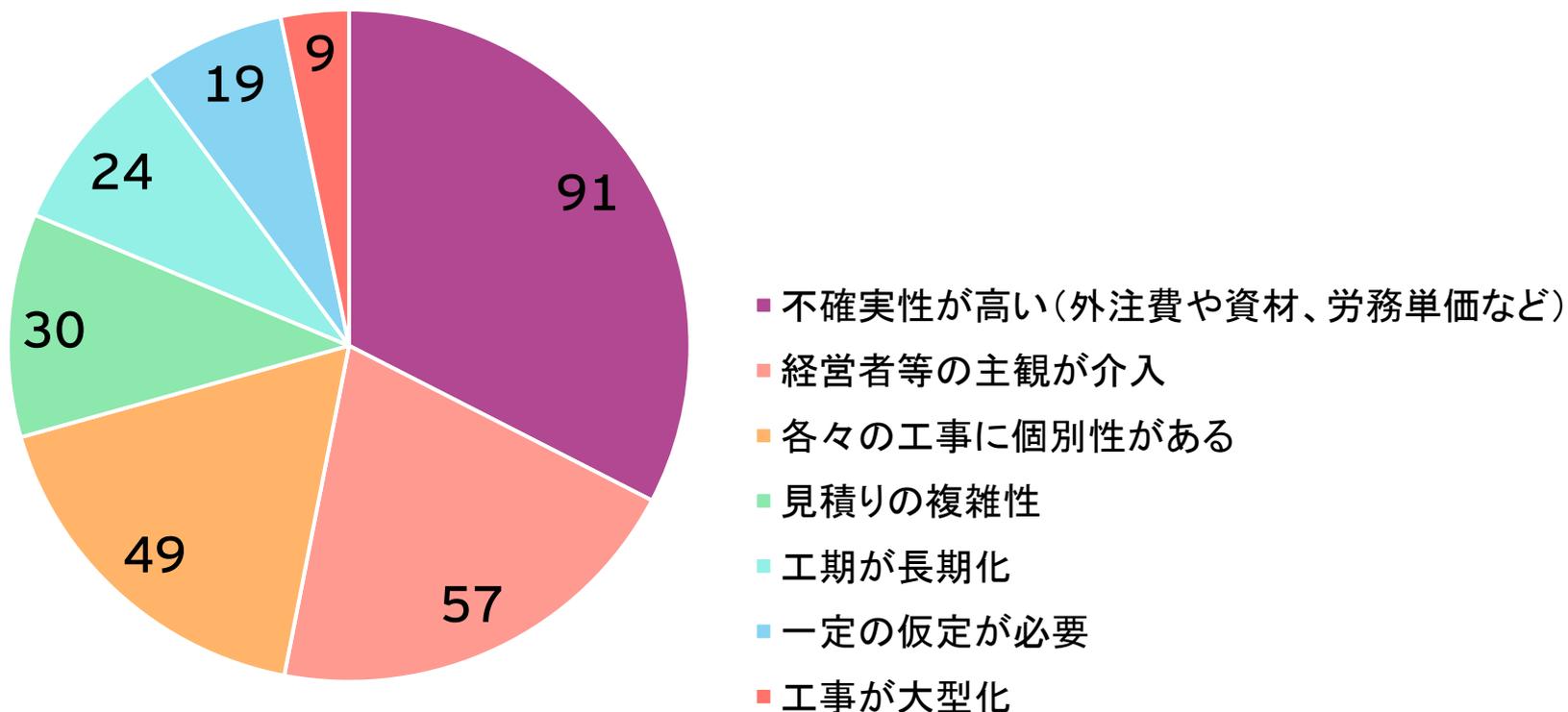
工事進行基準に関する主要な検討事項	事例数
工事収益総額の見積りのみ	0社
工事原価総額の見積りのみ	70社
工事進捗度の見積りのみ	4社
工事収益総額および工事原価総額の見積り	21社
工事収益総額および工事進捗度の見積り	0社
工事原価総額および工事進捗度の見積り	3社
工事収益総額・工事原価総額・工事進捗度の見積り	8社
合計	106社

「工事収益総額の見積り」のみを選定している事例はなかった。

II 監査上の主要な検討事項の内容および選定理由(工事進行基準)

2-1 選定理由の分布状況

- ▶ 工事進行基準をKAMとして選定した会社の多くは、「見積りの不確実性が高い」ことを理由として記載している(下分布図参照)。



II 監査上の主要な検討事項の内容および選定理由(工事進行基準)

2-1 選定理由の分布状況 (続き)

- ▶ KAMないしKAM選定理由として、特定の個別工事を記載している事例はない。なお、一部の事例において、個別工事までは特定しないまでも、より主要な検討を要する工事を絞った記載を行っている事例があった。



- ▶ 2021年3月期特有の事象を選定背景として記載している事例はわずかであった(例えば、新型コロナウイルス感染症<COVID-19>について触れている事例:1社 オリンピックについて触れている事例:1社)。

II 監査上の主要な検討事項の内容および選定理由(工事進行基準)

2-2 対象としている財務諸表数値

- ▶ ほとんどの事例※が工事進行基準に基づいて計上した売上高をKAM対象としていた。
 - ※ 数値を記載していない事例(1社)や海外セグメントの売上計上額をKAM対象としている事例(1社)があった。
- ▶ 「基本となる重要な事項」や「会計上の見積り」注記からの引用が多かった。(その他、連結PL注記からの引用事例もあり)
- ▶ 工事原価を記載している事例が1社あった。
 - ▶ (株)テノックス (会計監査人:あずさ)

連結財務諸表注記(連結損益計算書関係)に記載のとおり、株式会社テノックスの連結損益計算書に計上されている売上高15,906,872千円及び売上原価13,816,023千円のうち、工事進行基準に基づいて計上した売上高及び売上原価はそれぞれ2,816,435千円、2,499,948千円である。

2021年3月期より、連結PL注記を記載している。

II 監査上の主要な検討事項の内容および選定理由(工事進行基準)

2-3 「より主要な検討を要する工事」の記載

- ▶ 個別具体的な特定の工事(名称)を挙げた上、工事進行基準をKAM項目としている事例はなかった。
- ▶ ただし、工事進行基準対象工事のうち、より主要な検討を要する工事として、以下のような記載をしている事例も見られた。
 - ▶ (株)ビーアールホールディングス (会計監査人:トーマツ)

特に近年は、高速道路会社の既設構造物の大規模更新計画、新幹線の整備計画を背景に、工事契約が大型化、長期化、複雑化している。

これらは、国土交通省・地方自治体発注の新設橋梁工事に比べ、契約金額が多額で、工期も長い。将来の予測期間が長く不確実性の程度が相対的に高いため、財務的影響も大きくなっている。

また、単独での受注ではなく、ジョイント・ベンチャーのサブ企業としての契約も増加している。サブ企業の場合、工事で主導的立場を有するスポンサー企業契約や単独契約に比べ、請負金額の変更及び工事原価総額の変更等に関する情報が適時、適切に収集するのが難しい傾向がある。

このような環境下にあることから、特定の工事契約において以下の状況で工事進行基準を適用した場合、連結財務諸表全体に及ぼす影響が大きくなっている。

高速道路会社の既設構造物の大規模更新工事

JVサブ工事

II 監査上の主要な検討事項の内容および選定理由(工事進行基準)

2-3 「より主要な検討を要する工事」の記載

▶ 千代田化工建設(株) (会計監査人:トーマツ)

特に、海外における大型化及び工事期間が長期化しているプラント建設工事については、見積りの不確実性が高く、連結財務諸表全体に及ぼす影響が大きい。

従って、当監査法人は、海外における大型化及び工事期間が長期化しているプラント建設工事に関する工事進行基準の適用における工事収益総額及び工事原価総額の見積りについて、監査上の主要な検討事項に該当するものと判断した。

- ▶ 海外大型プラント建設工事
- ▶ 工事期間が長期化しているプラント建設工事

▶ 鉄建建設(株) (会計監査人:あずさ)

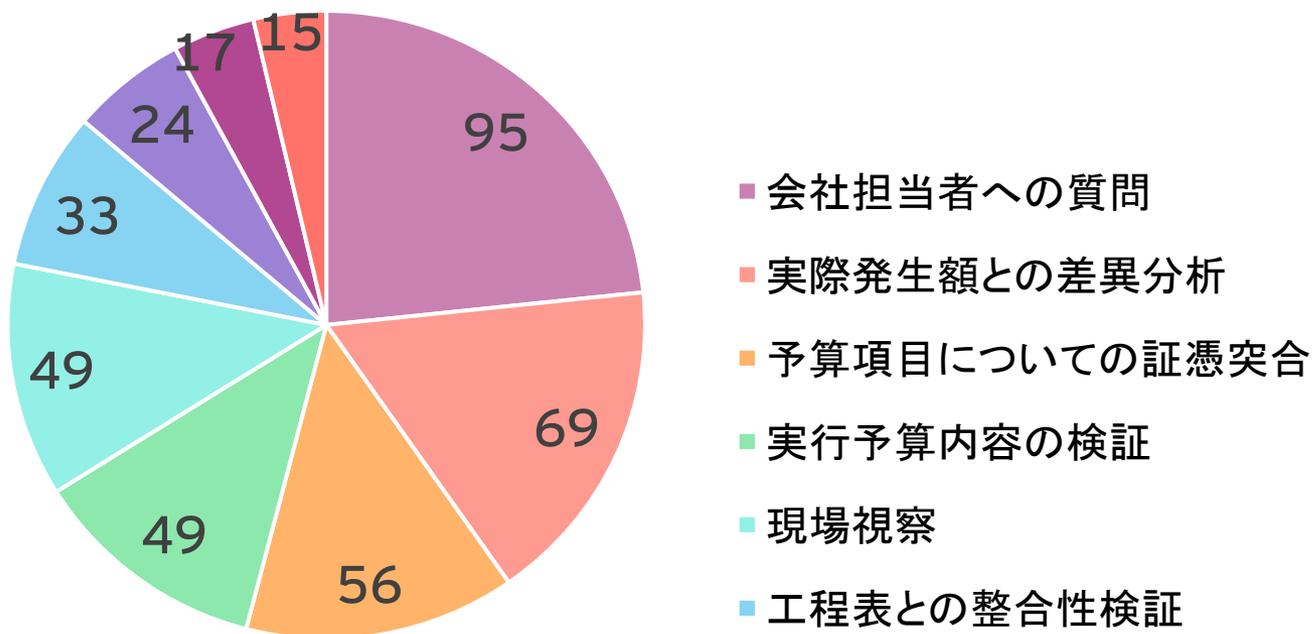
海外案件のうち、特に過去の施工実績の乏しい国の案件では、現地の協力会社と取引実績が乏しく、かつ、当該工事内容についての協力会社の施工経験が多くない場合があるため、その技術力や生産性を適切に見込み、工事の進捗効率を見積もることに不確実性が高まる特徴がある。このため、このような特徴を持つ案件に係る実行予算の工事原価総額の見積りには高い不確実性を伴う。具体的には、以下の点に関する経営者による判断が連結会計年度末における工事原価総額の見積りに重要な影響を及ぼす。

過去の施工実績の乏しい国の案件

III 監査上の対応(工事進行基準)

1-1 工事原価総額の見積り対応手続き記載の分布状況

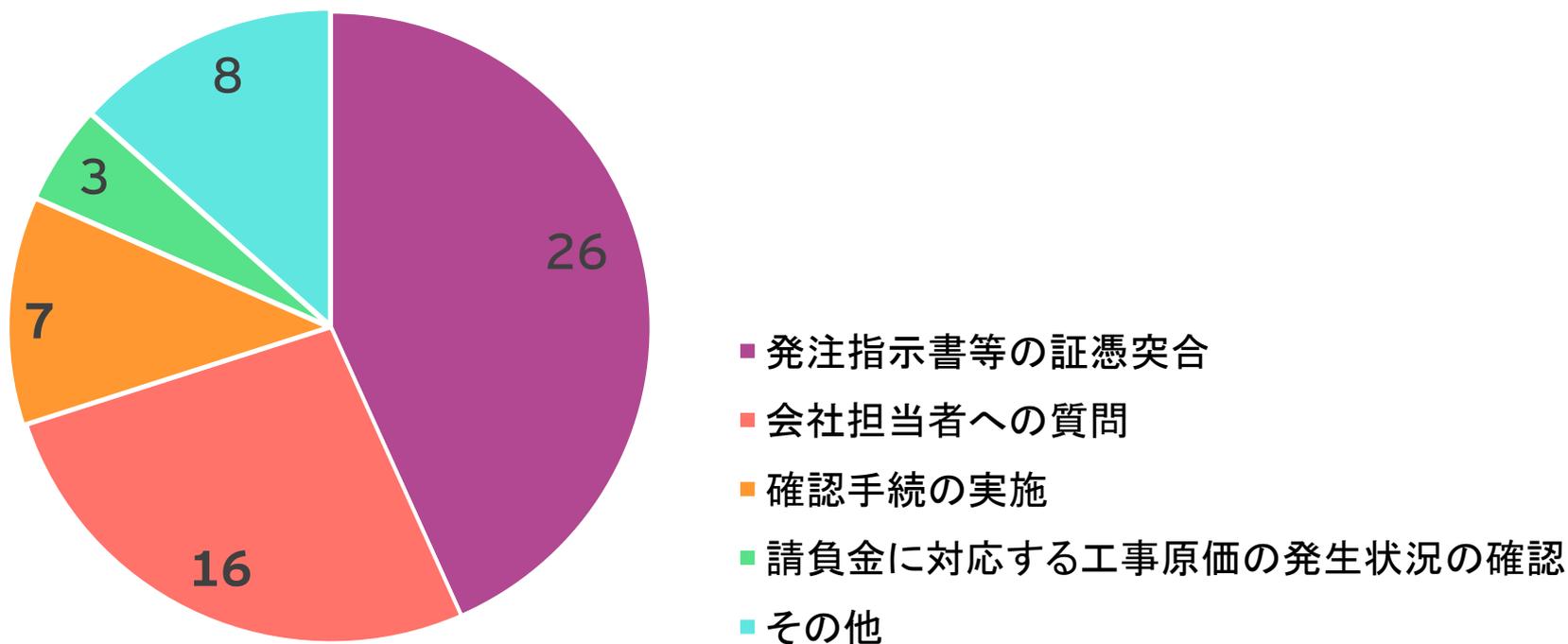
- ▶ 全ての事例に内部統制評価手続きの記載がみられた。なお、このうち、ITに関する内部統制評価について言及している事例は10社あった。
- ▶ 内部統制評価手続き以外の手続き記載に関し、主たる手続きの記載分布状況は下図のようになっている。多くの事例が「会社担当者への質問」を記載している状況である。



III 監査上の対応(工事進行基準)

1-2 工事収益総額の見積り対応手続き記載の分布状況

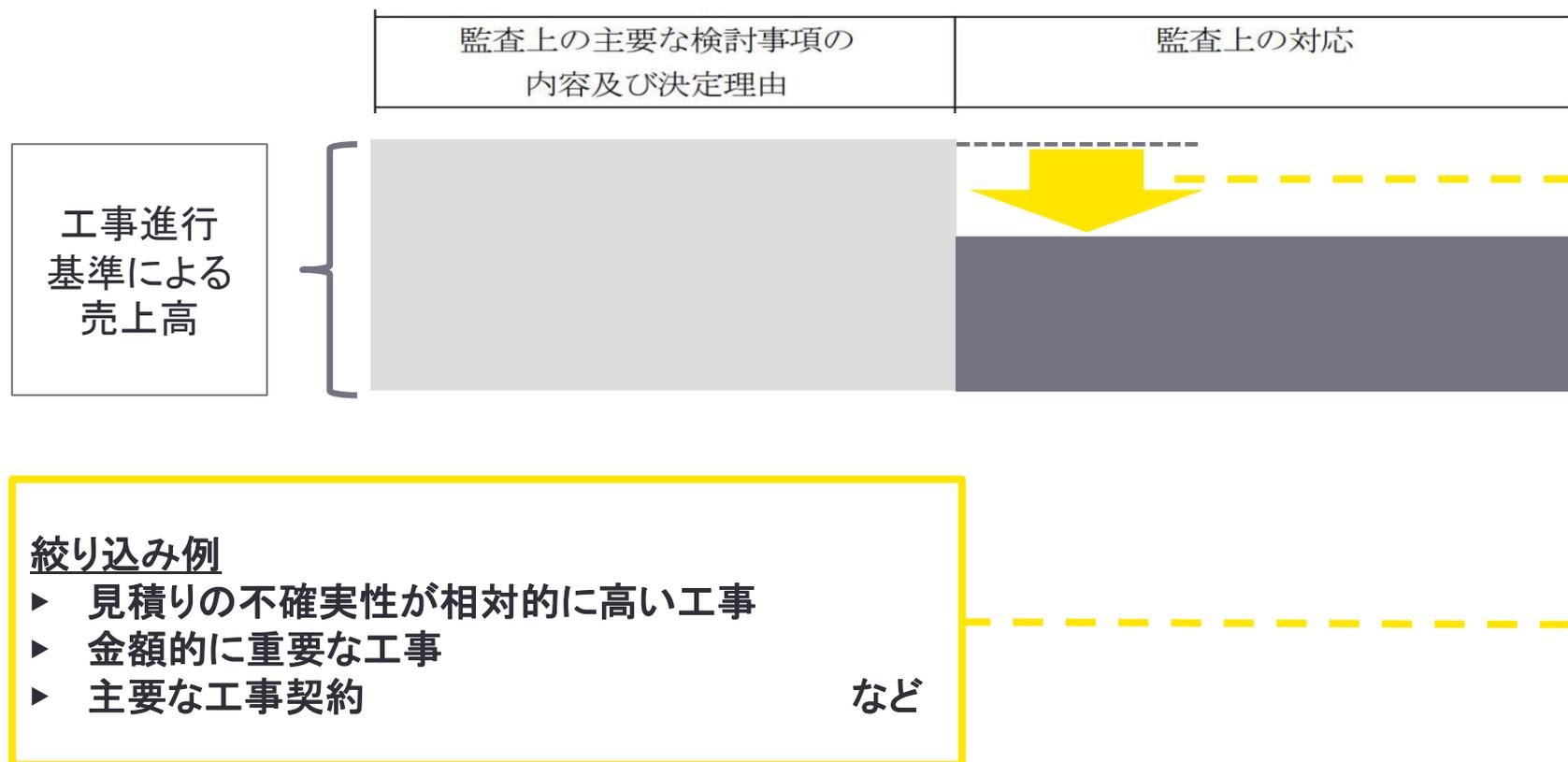
- ▶ 工事収益総額の見積りについてKAM項目としている29社について、内部統制評価手続き以外の手続き記載に関し、主たる手続きの記載分布状況は下図の通りである。
- ▶ 発注指示書などの証憑突合を対応手続きとして記載している事例が多い。



III 監査上の対応(工事進行基準)

参考 監査上の対応対象の工事について

- ▶ 工事進行基準の見積りをKAMとして扱っている事例の多くは、監査上の対応対象の工事として、全ての工事進行基準適用工事とはしておらず、一定の基準で絞り込んでいる。



III 監査上の対応(工事進行基準)

2 特徴的な手続き記載事例 ①

▶ 大成建設(株) (会計監査人:あずさ)

- ・ 工事契約に基づく工事の期間に占める決算日までの経過期間の割合(以下「期間進捗率」という。)と原価比例法による当該決算日における工事進捗度(以下「原価進捗率」という。)には一定の相関関係が認められ、また、当該相関関係には土木工事や建築工事等の工事の種類(以下「工種」という。)ごとに一定の類似性が認められる。このため、当連結会計年度において工事進行基準が適用された工事契約を工種に基づいて分類した上で、データ分析の専門知識を有する者を関与させ、当該分類ごとにデータ分析技法(※)を適用することによって、工事進捗度に異常性が認められる工事を特定した。

データ分析技法の適用

← 過去の工事データを活用

(※) データ分析技法は、主に以下のステップから構成されている。

- ① 過去数年間に完成及び引渡しを行った工事の期間進捗率と原価進捗率との関係に基づいて、平均的な工事の進捗を表す出来高曲線(以下「平均出来高曲線」という。)を推定する。
- ② 平均出来高曲線と過去の工事実績とのかい離状況を踏まえ、平均出来高曲線からかい離しても異常性がない工事であると判定するかい離幅を、当監査法人の判断により設定する。
- ③ 当連結会計年度末において工事進行基準が適用された工事について、平均出来高曲線とのかい離状況を確認し、②で設定した平均出来高曲線からのかい離幅を超えている工事を、工事進捗度に異常性が認められる工事として特定する。

データ分析を対応手続きの1つとして記載している事例はいくつか見られるものの、その多くは分析手法や分析内容について記載されていないが、当事例は、具体的な分析内容を記載している。

III 監査上の対応(工事進行基準)

2 特徴的な手続き記載事例 ②

▶ 住友電設(株) (会計監査人:あずさ)

- ・工事着手後の実際の原価進捗率と、過去の類似工事に係る平均的な原価進捗率を比較分析し、乖離の程度を検証した。なお、大幅な乖離がある場合、工事原価総額の見積り資料を閲覧するとともに、乖離の理由及び工事原価総額の見直しの要否判断を工事部門責任者へ質問し、工事原価総額に反映すべき追加原価の要否を検証した。

過去の類似工事との比較分析

▶ 南海辰村建設(株) (会計監査人:あずさ)

- 主要な工事契約について、工事進捗度と工事原価総額に占める発注済額の関係性を可視化し、標準曲線から乖離する工事契約について、最新の工事工程表を入手し、工事原価総額の見積り変更要否の判断について工事責任者に質問したほか、回答の基礎となる発注履歴、作業記録等を閲覧した。

原価発注済率と進捗率との乖離に着目

III 監査上の対応(工事進行基準)

2 特徴的な手続き記載事例 ③

▶ 千代田化工建設(株) (会計監査人:トーマツ)

- ④ プロジェクト責任者への質問及び根拠証憑の査閲を実施し、顧客との協議状況及び工事の進捗状況を把握し、契約納期の遅延に伴う工事遅延損害金やサブコントラクターに対する追加工事費用の発生リスクなど、工事収益総額及び工事原価総額の見積りに含まれる重要な不確実な要素を特定し、その見積りに関する仮定の合理性及び実現可能性を評価するため、構成単位の監査人と連携して、ネットワーク・ファームの評価専門家を関与させ、工事原価総額の見積りに関する適切性を検証した。

評価専門家の関与

▶ (株)KHC (会計監査人:EY新日本)

- ・工事収益総額及び工事原価総額の相関性を検討するために、同種の工事における原価率との比較を実施した。

同種工事の原価率の比較

EY | Building a better working world

EYは、「Building a better working world(より良い社会の構築を目指して)」をパーパスとしています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。

150カ国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。

アシュアランス、コンサルティング、法務、ストラテジー、税務およびトランザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起(better question)をすることで、新たな解決策を導きます。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EY新日本有限責任監査法人について

EY新日本有限責任監査法人は、EYの日本におけるメンバーファームであり、監査および保証業務を中心に、アドバイザリーサービスなどを提供しています。詳しくは ey.com/ja_jp/people/ey-shinnihon-llc をご覧ください。

© 2021 Ernst & Young ShinNihon LLC.

All Rights Reserved.

ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EY新日本有限責任監査法人および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

ey.com/ja_jp